

九州地区本部第39回定期大会開催



9月10日、北九州市内において開催し、執行部を代表し挨拶に立った田代委員長は、「物価上昇等で、私たちの生活はかなり疲弊しており、労働条件改善を強く推し進めていかなければならない。来月には年末手当交渉が始まり、本部と共に闘っていきたい。政策課題では、鉄道強靱化がある。毎年のように九州・中国地区において被害が出ており、列車の長期運休は私たちの生活にも影響する。強靱化はすぐにできるものではないが、取り組み強化を図っていきたい。安全については何度も言っているが安全最優先の取り組みをお願いし、組織課題については、ここにいる皆さんが一番よく分かっており、本日は最後まで活発な討論をお願いしたい」と述べ、来賓挨拶では、九州地方協議会吉田議長・辻村中央執行委員長、各々より挨拶を頂戴し、辻村委員長からは、会社の情勢を含め、政策課題や組織課題を述べられました。

執行部より、今後の活動方針を提起し、質疑では、「組織問題・労働条件・人事制度・安全課題・JR連合との取り組み」等、多く出され辻村委員長や執行部が答弁し、役員改選においては、田代委員長が退任し、新たに財前委員長となり、新執行部体制となりました。



財前新委員長



渡邊議長